2月7日　卒業判定会議
午前中授業
14日･19日入試関係行事
午前中授業

航路

平成25年度　1学年通信
第40号
発行　大阪府立堺工科高校
072-241-1401
1年担任団
学年主任　下出豊勝
ホットライン　090-3849-6266

あと2週間

進級なのか、それとも・・・・
自分の置かれている立場を考え、行動しなければならない。だのに、なかなか行動が変わっていかない。どのように考えているのでしょうか。考えが甘いのではないでしょうか。どうにかしてくれるであろうという考えがあるのが最近感じられる。それはどのようになるかは全くわからない。
もう時間がありません。できることはきっちりしておかないと後悔をしてしまいそうです。

勉強の時期と方法

授業中の態度、授業の集中度、提出物など、成績にはすべてが関連している。テストの点数だけが成績の材料ではない。この部分が理解できると勉強する態度や授業中の様子が変わっていく。
『1でなければいい』こんな考えでは進歩がない。今後どんな方向に進むにしろ、成績はついて回る。進路が決まれば後は努力することで、人生が変わっていく。
中学校から高校を受験決定したときの理由は①先生からいわれた。就職するんやったら工業やで。②一回受けてみるか。合格した行きや。③一回受けてみろか。この中にどれだけの人数がいるのでしょうか。
いずれであっても現在を考え努力をすることが大切です。
一年間く生活してみて、周りの生徒で進路変更した人もいる。その人の考えで学校を変わった人もいます。結果を見てから、今の選択がよかったのかといえるのです。今まで努力してきた上に立って、今後のことを考えてください。
全体的にみるとすべての面で努力不足が多い。努力することをいやがらないで行動することが大切です。
約2週間で学年末考査が始まる。『どないかなるやろ』の考えでは上達もしない。だからここで、できるだけのことをする必要がある。
テスト前になって勉強していくということよりも、今の時期からぼちぼちとやっていけば、わからないところを質問したり、再度勉強したりすることもできる。
勉強の方法はその人のやり方でしていくのがよい。
勉強しないのは勉強の仕方がわからないからだと思います。教科担当の先生にアドバイスをもらいましょう。

修学旅行情報④ 北海道

平成26年10月28日～3泊4日

先週木曜日に学年集会を実施し、学年主任の話に続き修学旅行の大まかな内容を映像を見ながら説明がありました。
いよいよ今年の秋には北海道へ出発です。この時期の北海道は少し寒い日がありますが、天候がよければ最高の景色です。
体験を中心とした内容を今後の参考として、先週アンケートを取りました。内容は決定ではありませんが。今後ホームルーム等で説明をしながら対応していきたいと考えています。
修学旅行の参加は2年生になることが絶対の条件です。また、費用については積み立てをしていますが、この費用が納入されなければ参加できません。早急に納入してください。

費用の納入を早急に

わが国は、緑に覆われた自然豊かな国であり、しかも春夏秋冬の四つの季節がはっきりしている。おそらくこれほど四季の移り変わりを実感できる国はないだろう。
節分の翌日が、立春であり、立夏、立秋、立冬であった。しかし、現代ではふつう節分というと、暦の上で冬から春へ移る昨日、２月３日の春の節分のことをさす。
これは農耕民族であるだけに、他の季節の節分より、長い冬から陽光が戻ってくる春の訪れを心から待ち望んだためだろう。やっと来た節分と、そして次の日の立春が一年の季節のスタートとなる日として、一年の生活設計を始める日であったため、この春の節分の意味が大きくなったと思われる。
人々はこの日に、それぞれの家庭で、大豆を煎って一升枡に入れ、家の中から戸外や庭に向かって『鬼は外』と、大声で叫びながら豆をなげつける。反対に外から家の中へは、『福は内』と、より大きな声でまき散らす。

４日は立春でした

家中に散らばった豆を、自分の年齢分か年齢より一個多い豆を食べて、一年の無病息災を祈る。かっては、どこの家庭でも見受けられたこの習慣も、最近の住宅事情なのか、価値観が変わったのか、都会ではほとんど見られなくなったことは寂しい限りである。
今季節は立春、農耕に関係する日を決める基準の日である。
例えば、お茶摘みの適季を表す八十八夜は、この日から数えて88日目の５月２日であり、農耕の大敵である台風に備える心構えを引き締める日二百十日は同じように数えると現在の９月1日頃になる。
暦では今日から春となるが、名ばかりで風は冷たく、ほほを打つ。関東地方では、これからが雪の季節であるが、気分的には寒さの峠は越え、各地から聞こえてくる花(梅)便りにも親近感というか、ホッとした気持ちが出てくることは確かである。
24節気は立春から始まります。冬と春の分かれ目で、節分の翌日にあたります。この日を年越しと考える風習もあって、新茶の八十八夜や稲の稔りの二百十日や二十日はこの日から数えます。冬

成長したか

先週の学年集会は全員が集中して話を聞く体制ができていたので、非常に静かでよかったと思います。
これは、今までの集会の訓練だと思いますが、人の話を聞く体制を取ることができてきたのだと感じています。この状態を続けていろいろな場面で、その場にあった対応ができるようになってください。ありがとう。

7日(金)　午前中授業
④⑤⑥50分授業
11日(火)　建国記念の日
14日(金)入試関係のため
午前中授業
①②③40分授業
19日(水)入試準備のため
午前中授業
①②③50分授業
大掃除
20日(木)休校
(入試のため)
21日(金)休校
(採点業務ため)
24日(月)午前中授業
①②③50分授業
25日(火)午前中授業
①②③50分授業
26日～3月5日
学年末考査
3月4日　卒業式
6日　登校日

学年目標　基本的生活習慣の確立。基礎学力の向上